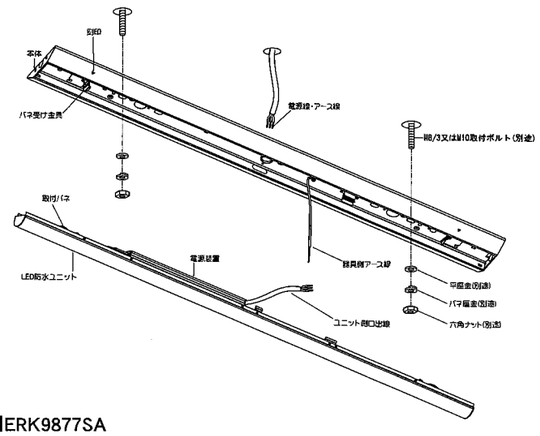
LEDZ

［型番］ ERK9871SA,ERK9876SA,ERK9877SA,ERK9878SA

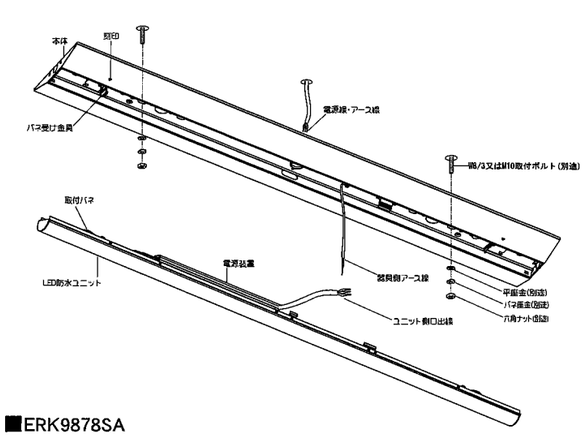
◆各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です

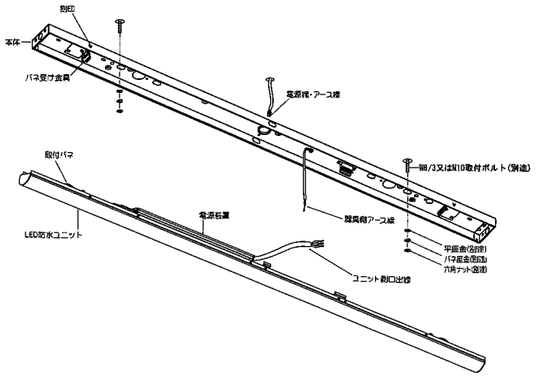
■ERK9871SA



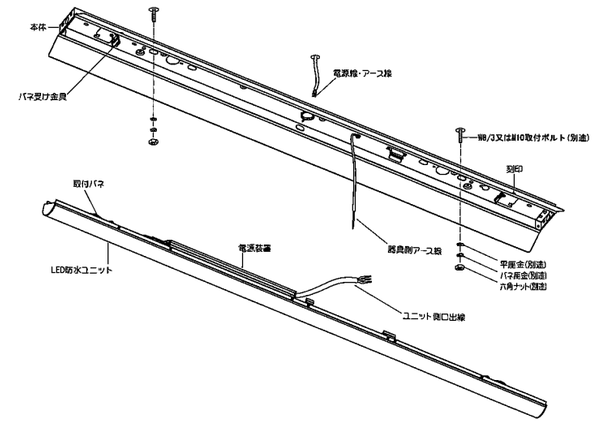
■ERK9876SA



■ERK9877SA



■ERK9878SA



◆適合LEDユニット(別売)

・定格値については仕様図の別表を参照ください。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆注意

・高温、高湿度になる場所、腐食ガスが発生する場所、塩害を受ける場所、屋内プールなどの塩素雰囲気にさらされる場所、振動の強い場所、脱臭・殺菌などでオゾンを使用する場所では、使用しないでください。故障・落下・感電・火災の原因となります。
・器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
・一部の食品や薬品や紙類などには、硫黄成分が含まれます。
・本LEDユニットのカバーは、ポリカーボネート製の為、直射日光の当たる場所や、蛍光灯が近接する場所などで紫外線が多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所、油分が付着される場所、オイルミストが飛散する場所では使用しないでください。カバーの劣化・破損・落下の原因になります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具･コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について

⚠ 注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

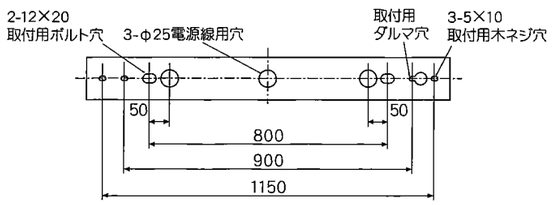
●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆取付寸法

■ERK9871SA,ERK9876SA,ERK9877SA,ERK9878SA



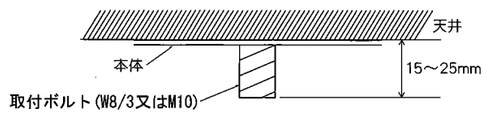
◆取付方法

1．安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2．器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。

●軒下用として使用できます。屋外や風の強くあたる場所に取り付けないでください。軒下用として使用する場合は、必ず雨線内の天井面で使用してください。施工に不備があると感電、火災の原因となります。
●天井直付専用ですので、傾斜天井・壁面・据置取付はしないでください。防水性が損われ、絶縁不良・感電・落下の原因となります。
●指定の位置に取付ボルトを施工してください。
●取付ボルト、平座金、バネ座金、六角ナットは別途ご用意ください。
●本体の取付穴に取付ボルトを通し、平座金、バネ座金、六角ナットで天井面に確実に取付けてください。
※本体を取付ける時、六角ナットを締めすぎますと本体が変形する場合がありますので、本体が天井面になじんだところで締付けをおやめください。

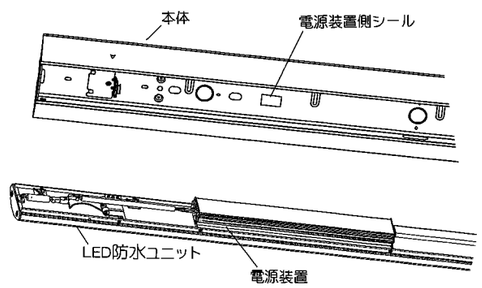


木ネジ取付の場合
●木ネジに平座金を付けて取付けてください。
●メタルラス仕上げの壁に取付ける場合は絶縁ブッシングをご使用ください。
※木ネジ、平座金、絶縁ブッシングは別途ご用意ください。

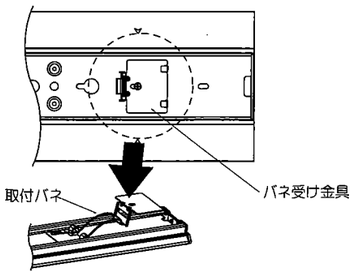
⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

3．LED防水ユニットを取付けてください。

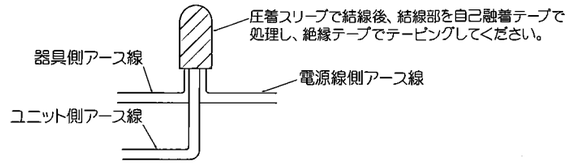
●本体の電源装置側シールを目印に、LED防水ユニットの電源装置を合わせてください。



●LED防水ユニットに付いている取付バネ2ヶ所を、本体のバネ受け金具に一旦引っ掛けてください。



4．電源線とLED防水ユニットからの口出線を確実に接続してください。
※両切りスイッチ、両切りブレーカーを使用してください。使用しない場合、消灯時にLEDが微小点灯する恐れがあります。
●D種（第３種）接地工事を行ってください。必ず器具からのアース線（緑／黄）も接続してください。
●電源線の接続部は自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施してください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災･感電･器具故障の原因となります。
⚠ 接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電･感電の原因となります。

5．LED防水ユニットを持ち上げて本体にセットしてください。

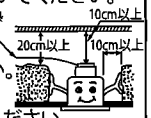
⚠ 取付けに不備がありますと落下の原因となります。

取扱説明書　保存用　一般屋外用・屋側用

◎一部の製品を除き、器具の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご相談ください。
工事店様へ、この説明書は保守の為お客様にかならずお渡しください。

安全に関する　⚠警告

●器具は定格電圧±６％以内でご使用ください。
　→範囲外の電圧を加えると発熱し、火災の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷めてから行ってください。
　→感電・やけどの原因となります。
●器具の改造、部品の交換をしないでください。
　→火災・落下・感電・溶融の原因となります。
●万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電気工事店にご相談ください。
　→そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
●器具に燃えやすい物（布や紙など）を乗せたり近づけたりしないでください。
　→火災の原因となります。
●器具は設置環境を確認の上ご使用ください。
　→(浴室などの湿気が多い場所、海岸隣接地帯、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用している屋内プール、オイルミスト（油飛沫）、振動や衝撃の多い場所など）器具仕様と異なる環境に設置すると、不点・器具破損・感電・火災・腐食の原因となります。
●器具に指定された取付け方向、点灯方向を守ってください。
　→火災・落下・感電の原因となります。
●埋設器具は、車両などの荷重がかかる場所、及び人の往来が多い場所、人が足で器具を踏むおそれのある場所では使用しないでください。
　→器具破損により、漏電・感電の原因となります。
●器具取付面の凹凸が大きい場合はパッキンと取付面のすき間をコーキング剤で埋めてください。
　→器具内に水が入ると火災・感電の原因となります。
●冠水する恐れのある場所、くぼ地などの水が溜まる場所には設置しないでください。
　→浸水による火災・感電の原因になります。
●草や木の近くに器具を設置する場合は、除草剤や肥料がかからないようにしてください。万一器具に除草剤や肥料がかかってしまった場合、水で洗い流してください。
　→除草剤や肥料で器具が腐食し、浸水による感電・不点の原因となります。
●設置場所には必ず排水処理工事を行ってください。
●ケーブル工事は電気技術設備基準などに準じ施工してください。
●壁内および器具の背面から水がかかる場所へは取り付けないでください。
　→火災・感電の原因となります。
●断熱施工方法は次のように行ってください。



・電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
・断熱材・防音材の上部は最低２０cmの空間が必要です。
・器具から断熱材・防音材までの距離を１０cm以上離してください。
・断熱材・防音材で器具の放熱穴などをふさがないでください。
　→火災・感電の原因となります。

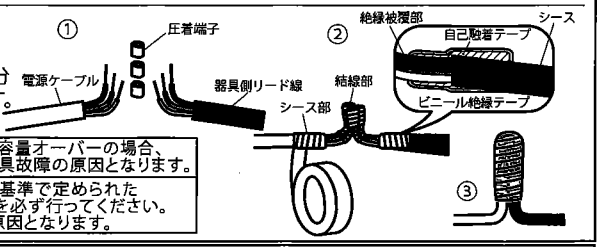
安全に関する　⚠注意

●器具周囲温度は３５℃以上では使用しないでください。
施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
　→指定外でご使用になると、火災・耐用年限が短くなる原因となります。
●積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
　→器具破損の原因となります。
●ガラスグローブ、前面ガラスを取り付ける際、パッキン部分に付着したホコリ・砂・石などの異物を完全に取り除いてください。
　→異物が残っている場合、水の浸入により絶縁不良が生じる恐れがあります。

ご使用上の注意

●器具が破損・傷がついたまま長期間ご使用になりますと錆が流れ出る場合があります。→定期的に点検・補修してください。
●昼夜の温度差によりガラス内側に結露が生じる場合がありますが異常ではありません。→点灯すれば解消しますのであらかじめご了承ください。
●ラジオ・ワイヤレス方式の機器は、なるべく器具から離してご使用ください。雑音が入る恐れがあります。
●ゴムパッキン等の消耗品は定期的に点検し、傷んでいる場合は速やかに交換してください。
●ＬＥＤ素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
●無線制御調光システムの通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。
詳細は当社無線制御システム、適合灯具の仕様図、取扱説明書をご確認ください。
●製品は予告無く仕様を変更することがあります。

◇口出し線器具　電源結線時の注意事項
電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。
※結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。
　同時にアース線はD種接地工事を行ってください。
●シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
●自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

点検・交換について

◇耐用年限について
●器具には耐用年限があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
　＊使用条件は周囲温度３０℃以下、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ　Ｃ８１０５－１解説による）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合、電源スイッチON/OFFの回数が多い場合は耐用年限が短くなります。

◇点検・交換について
●安全にご使用頂くために、１年に１回は「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。
（「安全チェックシート」は（一社）日本照明工業会のホームページ https://www.jlma.or.jp/anzen/anzen_cs.htm をご覧ください）
●点検を行うために設置場所、設置方法には十分考慮頂いたうえでご使用お願い致します。
●３年に１回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電、溶融などにいたる恐れがあります。

保証について

◇保証について
●照明器具の保証期間は、製品お買上げの日（お引渡し日）より３年間です。３年以降の２年間は同品（同等品）を無償提供させていただきます。
LEDランプに関しては製品お買上げ日（お引渡し日）より５年間は同品（同等品）を無償提供させていただきます。
無償提供品に関しては、取り付け・取替えなどの交換費用は含まれません。
●２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とさせていただきます。

◇補修用性能部品（電気部品）について
●弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
●補修用性能部品には、同等性能を有する代替え品を含みます。

お手入れ・清掃方法（⚠必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。）

◇器具の清掃について
●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布などで、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●ベンジン、シンナー、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

高付加価値空間創造企業　株式会社 遠藤照明
【URL】https://www.endo-lighting.co.jp